

2022年3月4日
応緑株式会社

総合ゲートメーカーの50周年記念 「オンリーONE商品をシリーズ化！」

総合ゲートメーカーである応緑株式会社（本社：兵庫県姫路市、代表取締役：河越祥郎）は、独自の設計思想と高品質施工をもとにオンリーONE商品を数々生み出してきました。この度、当社は2022年4月に創業50周年を迎えます。これを記念し、今まで製作してきたオンリーONE商品を順次シリーズ化することで新商品としてラインアップして参ります。日本の建築設計において、これらの新シリーズゲートが建築デザインの展開に貢献していくことを期待しております。

現在、小型ゲート（幅約6m以下）は加工しやすく価格も安いアルミ製品が主流になっています。しかし、アルミ製品にはデザインが限定され、強度・耐久性ともに低いという課題がありました。一方、中型～大型のゲートでは強度・耐久性ともに優れ、多様なデザインに対応できるスチール製品が一般的に使用されています。イニシャルコストはアルミ製よりも高くなる傾向にありますが、数年で交換を要する可能性があるアルミ製品に対して、スチール製品の場合は防腐処理を施すことで約30～50年の耐久期間になるため、ライフサイクルで考えるとアルミ製品よりも安価になると言えます。それに加えて、アルミ材料そのものを生成する際には原材料であるボーキサイトを電気分解する生成過程において大量の電気が必要となるため、今後は環境配慮にも考慮し、アルミ製品からスチール製品への置換が増えてくると考えられます。

上記より、当社は応用性の高いスチール製のゲートで様々な独自商品の開発に着手してきました。当社ゲートのコンセプトは『操作性NO.1』。どんなに大型の重量ゲートでも国内で唯一、手動で開閉可能な操作性を実現できる技術力を保有しており、独自設計思想・高精度製作・高品質施工という他社にない3点の特徴があります。商品名『HI SPEC-GATE』-高品質門扉-は、この特徴を基に商品化され、国内主要建築物をはじめ国家重要施設まで納品してきました。全ての製品がオーダーメイドですが、ニーズがあり当社独自のノウハウがなければ製作・施工できない製品について今回、シリーズ化して発表いたします。

新シリーズ商品一覧 （各詳細資料は別紙）

- 1. エアポートゲート：最高品質の大型電動門扉**
故障等による不作動回避の為、2バックアップシステムを搭載
- 2. セパレートゲート：連結・分離可能門扉**
連結された門扉の分離可動により、開口間口をフレキシブル化
- 3. スロープゲート：勾配地対応門扉**
自動ブレーキ機構付き、坂道に適応した安心・安全設計

【本件に関するお問い合わせ先】

応緑株式会社（オーリョク） ゲート事業部
〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL：079-224-7501 FAX：079-224-7507
E-mail：info@ohryoku.co.jp

1. 国内ゲート業界背景

建築工事において、ゲートは「外構」に属します。製品分類としては鋼製建具として、従来はゼネコン工事で製作施工が行われてきました。建築構造体がデザインも含めて多種多様な展開を見せることにに対し、ゲートは従来の形から大きな変化は見られませんでした。これには大きく2つ理由があると推測します。

1つ目は、日本のセキュリティー意識の問題です。

従来より日本は、海外と比較すると治安が良くテロの危険性も極めて低いことなどから、ゲートは開放されたままの状態も見受けられました。しかし、平成13年の大阪教育大学附属池田小学校事件をはじめとする凶悪な学校犯罪やその他施設への不法侵入による傷害・盗難事件なども発生していることもあり、ゲートは基本的に閉鎖をしておき都度に開閉作業を行うという状態に最近は変化してきました。結果として、ゲートの必要性が向上すると共に、操作性・デザイン性・安全性などの基本性能に対するニーズが高まっています。

2つ目は、ゲート専門メーカーの存在があまり知られていないという問題です。

ゼネコン工事では、従来から設置されていた鉄工所製作の単純な手動開閉ゲートを使用して施工が行われます。しかし一般の鉄工所では特殊仕様（電動化や拘ったデザイン）のゲート製作は困難なことから、ここでの限界がゲートにおける設計基準となり、建築業界の常識として今まで浸透してきたのではと推測します。

昨今、施設の出入り口としてのみならず、企業等の顔である正面玄関への建築デザインやセキュリティー等の様々な要求が高まり、対応できるゲートメーカーの先駆者として当社の技術力で貢献してまいります。

2. ゲートのサイズ・材質等の基本的な考え方と変化

従来は、一般的に小型ゲートといえる6m程度まではアルミ製が主流でした。それ以上のサイズでは、ゼネコン工事で鉄工所による製作であったり、さらに大型サイズになると重工業メーカーが製作することもありました。しかし現在では、小型ゲートであってもデザイン性やセキュリティーとの組み合わせを行う場合は、エクステリアメーカー製のアルミゲートでは対応が困難となり、スチールゲートの専門メーカーに依頼されるケースが増えてきています。特に中型以上の場合、ゲートの電動化や遠隔操作は鉄工所では対応できず、さらに大型になると製作ができるメーカーさえほとんど存在していないのが現状です。

当社では、国内における新築工事の中型～大型ゲートを専門的に製作施工しており、困難な条件の元、国家重要施設から民間の大型ゲートまで対応するに至っております。

3. 主な建築種別のゲートニーズ

建築物別にゲートニーズ・特徴についてご紹介します。

- ◆学校・警察 : 小間口・耐久性・頻繁に開閉する事により操作性重視。
- ◆自衛隊 : 不測の侵入に備え強化された防御性重視。
- ◆データセンター : データ保護の為、侵入に備え視線遮断・高さを確保・水害配慮・
今後さらにハイセキュリティー化傾向。
- ◆工場 : 大型トラックの頻繁通過を想定、大型間口・電動化・転倒防止等の安全性。
- ◆空港 : 航空機の通過を想定、超大型・電動化・不作動回避バックアップシステム・遠隔操作。

【本件に関するお問い合わせ先】

応緑株式会社（オーリョク） ゲート事業部
〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL : 079-224-7501 FAX : 079-224-7507
E-mail : info@ohryoku.co.jp

4. 当社製品 "HI SPEC-GATE" のゲート特徴

- ◆独自設計思想：大型サイズでも手動で開閉できる操作性を重視。小間口になるほど軽い操作性を実現し、ゲートの間口や重量に応じたホイールサイズの選定とバランスに配慮しています。取り付け方やホイールの種類にもこだわりがあります。
- ◆高精度製作：独自設計のゲートを高精度に製作。約400°C超の溶融亜鉛メッキ層に浸し、高耐久性を確保した後、高温により生じた歪を補正。当社では標準工程ですが、他社では対応困難。
- ◆高品質施工：当社のコンセプトである"軽い操作性"は、高品質施工により実現します。独自アジャスティングシステムにより、レール設置後の上下左右誤差は、なんと0.5mm。(他社の約1/10程度。※弊社調査)
電動化しても軽い操作性のため、エンジンの負荷軽減となり故障が少ないゲートを実現。

当社ゲートの評価が高い理由は、上記の三つ。これらにより初めて高品質ゲートが生まれます。様々な事を考慮した設計、それに応える製作技術と手間をかけた丁寧な施工によりHI SPEC-GATEが誕生します。

5. オンリーワン事例



エアポートゲート

三沢空港（青森県）

長さ110m、重量40tonの超大型電動ゲート。米軍が使用する滑走路を民間機が利用し、民間ターミナルとの間にゲートを設置。故障は許されない為、各種のバックアップシステムが装備されている。

開口サイズ：約110m 重量：40,000kg



フォールディングゲート

新風館（京都府）

2020年6月にオープンした複合商業施設。旧電電公社を改装し、隈研吾さんが監修された著名建築物。開館時、ゲートは開いてるので分かりにくいですが、既設建物に対応した折り畳み式のフォールディングゲートを施工。

開口サイズ：約6m



データセンターゲート

エクイニクス（東京都）

内部が見えない全面パネル仕様の電動ゲート。水害対策により電装部分は500mm地上より高く設置。重要かつ機密のデータを管理するニーズが急速に高まり、今後は国内のデータセンター建設が急増すると予測。（データセンター用ゲート仕様確立中）

開口サイズ：約5m 重量：1,210kg

【本件に関するお問い合わせ先】

応緑株式会社（オーリョク） ゲート事業部
〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL：079-224-7501 FAX：079-224-7507
E-mail：info@ohryoku.co.jp

5. オンリーワン事例（続き）

**ラウンドゲート****神戸市立 井吹の丘小学校（兵庫県）**

車両ロータリーの形状に合わせてデザインされたラウンドゲート。

開口サイズ：約6m 重量：440kg

**ブラインドゲート（減音タイプ）****大阪紙器工業株式会社（大阪府）**

住宅街の中の工場。工場内の作業音が周辺住宅へ漏れることに配慮して、門扉の内部に壁と同じ防音材が入っています。

（減音タイプのブラインドゲート）

開口サイズ：約10m 重量：3,600kg

**ブラインドゲート（減光タイプ）****宇治市立 東宇治中学校（京都府）**

左右でデザインが異なる両引きゲート。周辺住宅に配慮して、片方は光が漏れにくいルーバー形状にしました。

（減光タイプのブラインドゲート）

開口サイズ：約7m 重量：左250kg 右589kg

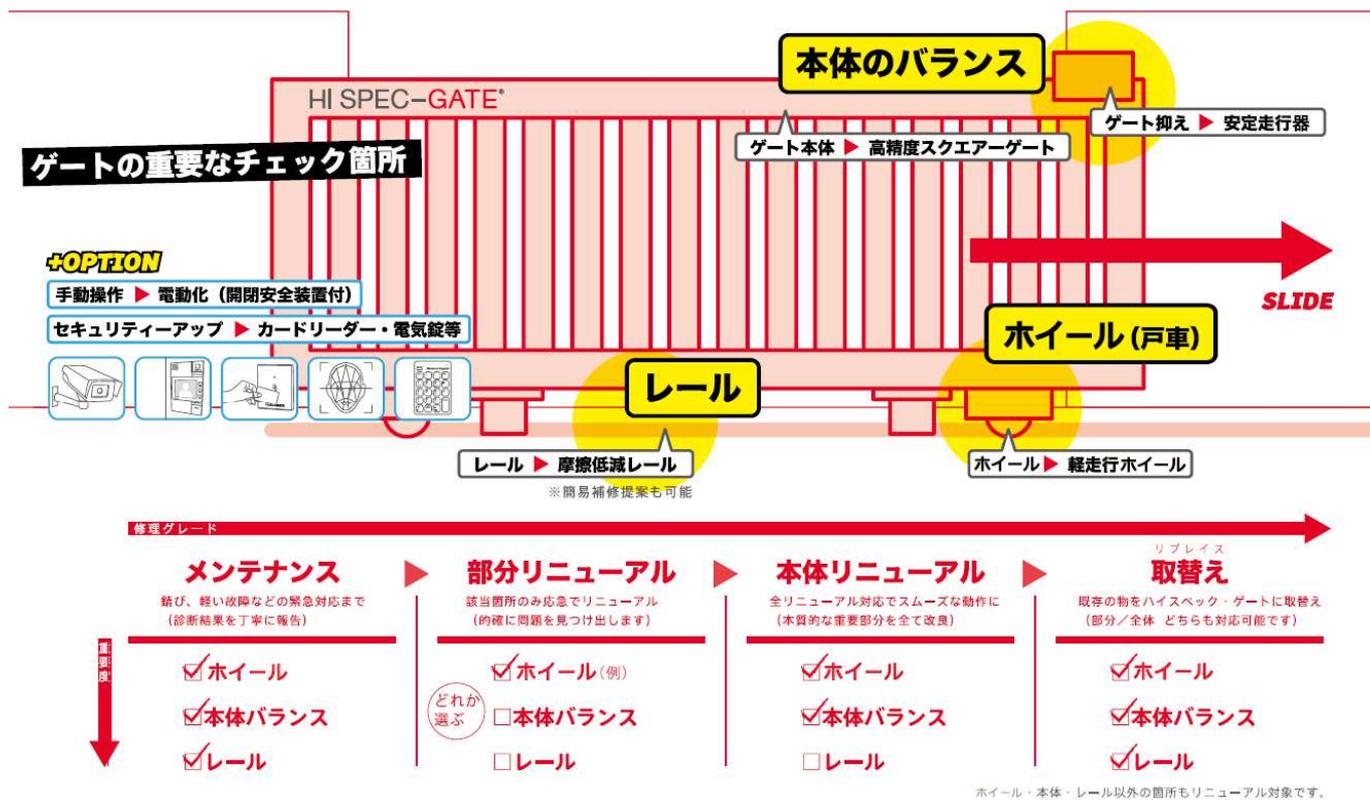
【本件に関するお問い合わせ先】

応緑株式会社（オーリョク） ゲート事業部

〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL：079-224-7501 FAX：079-224-7507

E-mail：info@ohryoku.co.jp

6. 今後のニーズ：潜在ニーズの顕在化 ～メンテ・リニューアル・電動化～



リニューアルの考え方

錆びている、操作が重い、修理は大掛かりと考えられているのが現状だと思われます。

- ①メンテナンス下見
- ②予算・状況に応じたメンテナンスのご提案
(例) とりあえず動くようにしたい
→当社独自のレール補修技術やホイールチェンジ技術などで簡易メンテ可能
- ③他社ゲートでもリプレイス・メンテ可能
- ④手動から電動化へのアップグレードも可能

メンテナンス事例



あべのドルチェ (大阪府)

平成28年5月に納品した総戸数193戸の大規模マンション。以前の課題は、24時間稼働する駐車場用電動ゲートの故障が多いことでした。当社のゲートに取替えたところ故障がなくなり、入居者様・管理者様ともにご満足いただいております。

開口サイズ：約6m 重量：975kg

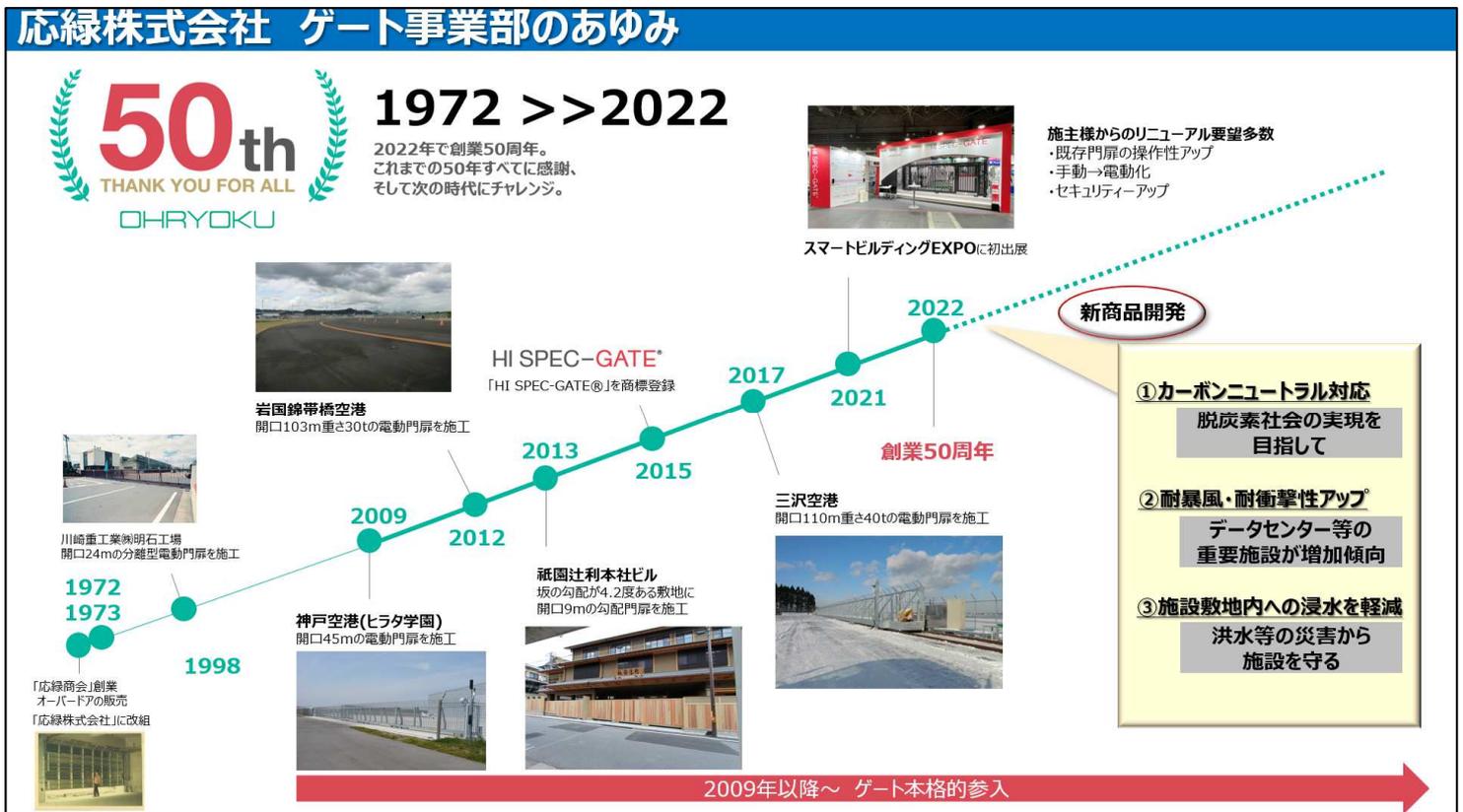
【本件に関するお問い合わせ先】

応緑株式会社 (オーリョク) ゲート事業部
 〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL: 079-224-7501 FAX: 079-224-7507
 E-mail: info@ohryoku.co.jp

7. 応緑のあゆみ

- 1972.4. 姫路市北条中道39番地21において、「応緑商会」創業
- 1973.8. 「応緑商会」から「応緑株式会社」に改組
- 1979.11. 姫路市市川橋通2丁目13番地に新社屋完成 移転
- 1987.4. 姫路市京町1丁目11番地に新社屋完成（100坪）へ移転。
市川橋社屋は工場・倉庫とする。
- 1988.4. ヤマハショールームオープン
- 1997.6. 社屋隣接の姫路市京町1丁目12番地7～8（81坪）を取得。延181坪。
- 1998.10. 川崎重工業(株)明石工場にて開口24mの分離型電動門扉を施工
- 2002.1. 一級建築士事務所に登録
- 2009.7. 神戸空港(ヒラタ学園パイロット養成所)にて開口45mの電動門扉を施工
- 2009.9. 本社事務所 全面改装オープン
- 2010.4. 本社1F ショールーム 全面改装オープン
- 2011.3. ヤンマー中央研究所にて開口7mの片開 スイング式電動門扉 新開発
- 2012.8. 岩国錦帯橋空港にて日本最大級 開口103m重さ30tの電動門扉を施工
- 2013.8. 祇園辻利本社ビルにて坂の勾配が4.2度ある敷地に開口9mの勾配門扉を施工
- 2013.10. 当社特約代理店 ヤマハリビングテック(株)からトクラス(株)に社名変更
- 2015.10. 「HI SPEC-GATE®」を商標登録（電動式門扉自動開閉装置）登録第5797361号
- 2016.10. （公財）ひょうご産業活性化センターより「成長期待企業」に認定
- 2017.1. 「HI SPEC-GATE®」を商標登録（金属製門扉）登録第5915362号
- 2017.12. 三沢空港にて日本最大級 開口110m重さ40tの電動門扉を施工
- 2021.3. 陸上自衛隊 宮古島訓練場にて開口15mの不測の進入に備えた高強度門扉を施工
- 2021.5. 第50期 経営方針発表会にて、「応緑株式会社SDGs取組方針」を発表
- 2021.9. 第5回 関西 スマートビルディングEXPOに初出展

応緑株式会社 ゲート事業部のあゆみ



【本件に関するお問い合わせ先】

応緑株式会社（オーリョク） ゲート事業部
〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL : 079-224-7501 FAX : 079-224-7507
E-mail : info@ohryoku.co.jp

2022年3月4日
応緑株式会社

新ゲートシリーズ『エアポートゲート』 ～最高品質・大型電動門扉～

総合ゲートメーカーである応緑株式会社（本社：兵庫県姫路市、代表取締役：河越祥郎）は、独自の設計思想と高品質施工をもとにオンリーワン商品を数々生み出してきました。今回は創業50周年を記念し、積み上げてきたノウハウの集大成の一つとして、最高品質の大型電動門扉『エアポートゲート』を発表致します。日本の空港各所で、この新ゲートが採用されることにより故障のないゲートを通じて空港運用に貢献していけることを期待しております。

現在の空港用大型ゲートは、空港開発がピークの頃に設置され、老朽化したゲートで運営されていることが多い様です。空港は重要施設であるため、多額のメンテナンス費用を投入しながら円滑な空港運用を行っているのが実情です。そこで当社では、超大型ゲートでも故障をせず走行性能を保つ独自技術を活用し、空港専用の超大型電動ゲート『エアポートゲート』を商品化することにしました。

空港では人や自動車用ではなく、航空機専用ゲートが設置される場合があります。事例としては、一般の航空機が発着する場所とは異なり、空港内に航空機動隊やパイロット養成所等がある場合または民間航空機が民間ターミナルと米軍や自衛隊の敷地を通過する場合があります。これらの場合、同じ空港内でも管理者が異なるため境界が設けられており、航空機が通過する度にゲートの開閉が必要となります。また航空法により、航空機がゲートを通過する際には、左右に法定距離の確保が必要となり、通過する航空機の全幅+ α の有効間口が必要となります。（中型機の場合、全幅（ボーイング787：60.1m）+左右それぞれに11m以上）

また航空機用ゲートでなくとも空港設置ゲートの場合、通過車両数が非常に多いため頻繁に開閉作業を行う場合があります。

例）大阪国際空港ANA給油施設の場合、1日の開閉回数が250回以上と頻繁に使用される過酷な状況です。

このように、空港ゲートは通常ではあり得ないサイズ・使用環境であるため、専用のゲート開発が必要となり、当社は独自に商品開発を行ってきました。当社ゲートをご採用頂く事で、重要施設である空港においてトラブルの未然防止と共にメンテナンス費用の削減も図ることができ、空港ゲートのリプレイスや新設の際に貢献していきたいと考えております。

『エアポートゲート』の商品特徴

1. 最高品質・大型電動門扉。
2. バックアップシステムにより、メイン電動モーター異常時には自動切換えでサブモーター起動。
3. 停電等により動力そのものが損失した場合も、手動操作による開閉操作が可能。

【本件に関するお問い合わせ先】

応緑株式会社（オーリョク） ゲート事業部
〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL：079-224-7501 FAX：079-224-7507
E-mail：info@ohryoku.co.jp

1. エアポートゲートの特徴

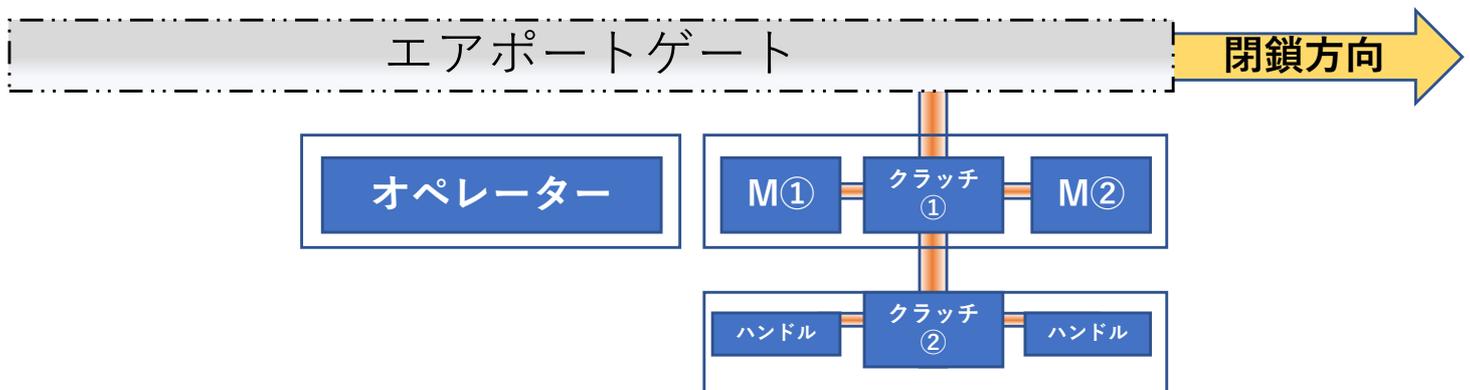
空港ゲートの設計では、人や車両が通過する一般的なゲートとは異なる以下の要素が求められます。

- ①サイズ・重量：航空機用では小型機で幅30m以上
 中型機（ボーイング787の場合）で幅82.1m以上・重量 247.2kg
 これら航空機が通れるサイズと、その重量に耐えられる高品質レールが必要となる
- ②開閉回数：（例）大阪国際空港 A N A 給油施設では 1日250回以上
- ③バックアップシステム：電動モーター不作動時の場合でも、大型サイズのゲートの開閉ができる
- ④開閉操作：遠隔操作⇔ダイレクト操作切替
- ⑤強化対策：車両突入や暴風雨による転倒防止対策、防錆対策、侵入対策（高さ対応・忍び返し・下部スキマ対策等）
- ⑥特殊対応：寒冷地対策（極低温・降雪・融雪装置）

2. バックアップシステム

空港ゲートの設計では、上記③の様に電動モーター不作動時の場合でも、大型サイズのゲートの開閉が必ずできる事が求められます。しかし、超大型サイズで100m超にもなると重量も30tonオーバーとなり、通常の設計では手動で動かすことは困難です。そこで当社は、独自の2バックアップシステムを開発しました。

まずメインモーターM①で通常駆動を行います。もしメインモーターM①に異常が起こった場合、オペレーターが検出し、クラッチ①を自動で切換えしてバックアップモーターM②に接続することでゲートの作動環境を担保し、空港運用に支障をきたさないように制御を行います。
 次に、万が一 停電等により動力そのものが喪失した場合、手動操作でクラッチ②に切替えてハンドル操作に接続することで手動操作を可能にできます。ハンドルは手動でも操作できるようにギア比により軽い操作力に変換されています。



3. 事例



岩国飛行場（山口県）

長さ103m、重量33tonの超大型電動ゲート。米軍が使用する滑走路を民間機が利用し民間ターミナルとの間にゲートを設置。故障は許されない為、2バックアップシステムが採用されています。

開口サイズ：約103m 重量：33,000kg

【本件に関するお問い合わせ先】

応緑株式会社（オーリョク） ゲート事業部
 〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL：079-224-7501 FAX：079-224-7507
 E-mail：info@ohryoku.co.jp

2022年3月4日
応緑株式会社

新ゲートシリーズ『セパレートゲート』 ～連結・分離可能電動門扉～

総合ゲートメーカーである応緑株式会社（本社：兵庫県姫路市、代表取締役：河越祥郎）は、独自の設計思想と高品質施工をもとにオンリーワン商品を数々生み出してきました。今回は創業50周年を記念し、積み上げてきたノウハウの集大成の一つとして、連結・分離を可能とした門扉『セパレートゲート』を発表致します。ゲートを保有している施設管理の潜在ニーズに対応し、当社新商品が貢献していけることを期待しております。

従来、開口間口に対して設定したゲート幅は、施工後に容易に変更することはできませんでした。しかし運用開始後、ゲート全開時の間口が広すぎる場合は通行管理を行う守衛室等から離れたところを通行されることがあり、管理者も通行者も不必要な距離の移動や手間が生じる場合があります。

そこで当社は、この課題を独自の方法により解決した連結・分離を可能とした門扉『セパレートゲート』を開発しました。これは、施工後においてもゲートの幅を変えることができる画期的なシステムです。最大の課題である可変システムについては、当社は独自の連結装置“ゲートコネクター”の開発により解決しました。

通常時は分離可能な各ゲートは連結されており、全てのゲートが1つのゲートとして同時に動かせます。必要に応じて、開発した“ゲートコネクター”を解除することで、解除されて連結ゲートから分離したゲート部分は固定ゲートとなり、間口を塞ぐことで必要な通行幅のみを残すように調整ができます。

このシステムにより、今後は最大間口で設計していても必要に応じたゲート幅で運用できるのみでなく、監視しやすい通路側に誘導すること等も容易にでき、施設出入口の管理運用に貢献できると考えています。

『セパレートゲート』の商品特徴

1. 新連結装置“ゲートコネクター”の開発により、ゲート間口の簡易可変化を実現。
2. 電動ゲートにも対応。可変後の間口にも自動対応。
3. 遠隔操作による開閉も可能。

【本件に関するお問い合わせ先】

応緑株式会社（オーリョク） ゲート事業部
〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL : 079-224-7501 FAX : 079-224-7507
E-mail : info@ohryoku.co.jp

1. セパレートゲートの特徴

ゲートの設計では、幅5～7mの単体ゲートの連結を行い、必要な開口幅になるように設計されます。一旦連結されると、通常は連結後の幅の状態が開閉操作が行われます。本セパレートゲートは、必要に応じて連結の簡易解除と解除された状態での部分運用が可能です。しかし課題として、以下の項目がありました。

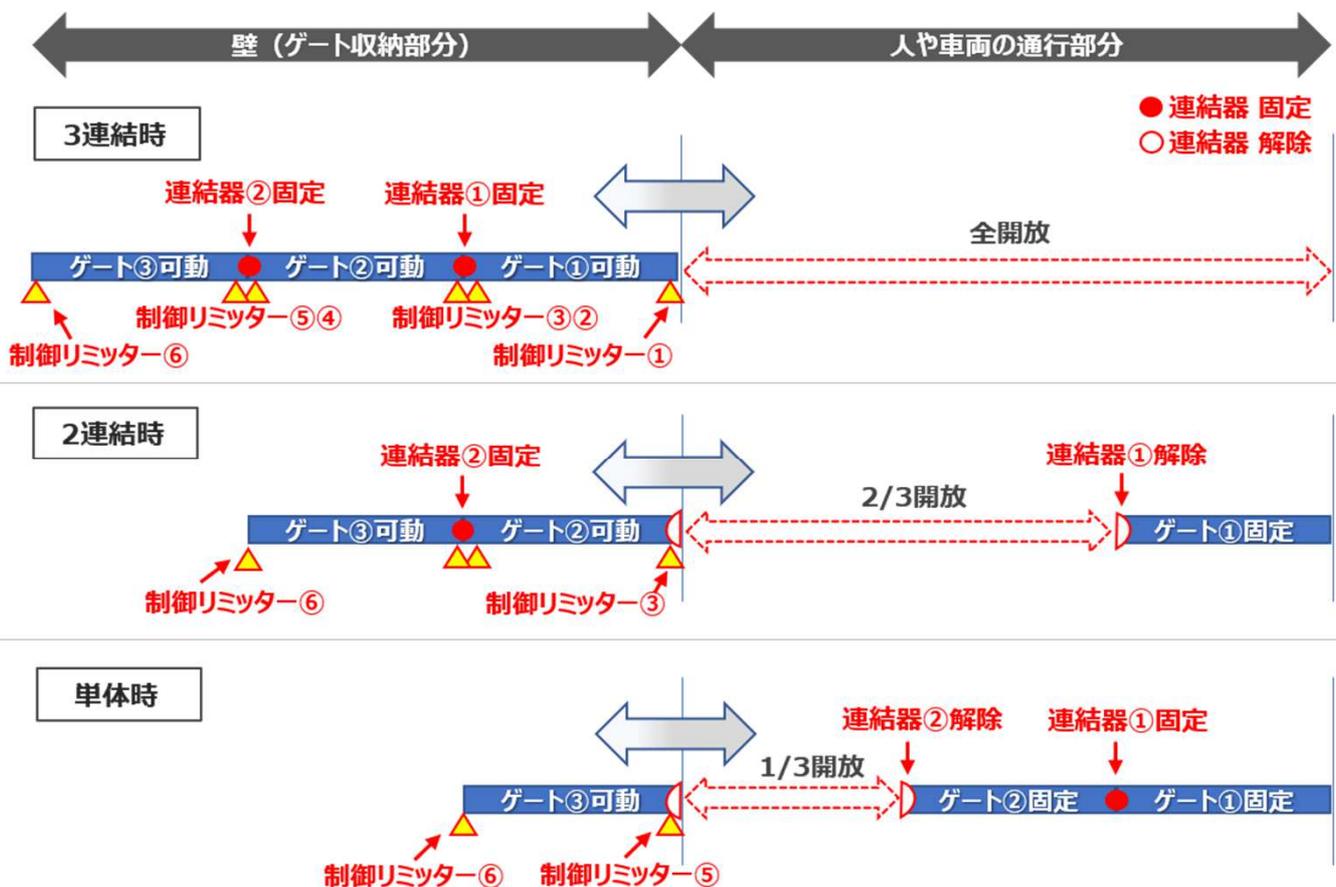
- ①連結装置：メーカーでない一般施設管理者の方が容易に安全に操作できること。
- ②開閉操作：ゲート幅の変化に対応して、電動開閉装置のスタート・停止位置を変更する自動制御。
- ③耐久性：ゲート開閉回数・連結器の開閉操作耐久の確保。
- ④操作：電動⇔手動操作切替対応。
- ⑤強化対策：転倒防止、防錆対策。

2. セパレートシステム

セパレートゲートの設計では、上記①②の様に容易に安全に操作ができることが必要な上、電動モーターで開閉する際のゲートのスタート・停止位置が変わることに対する自動制御が最大の課題でした。そこで当社は、独自のセパレートシステム“連結器：ゲートコネクター”を開発しました。

3連ゲート事例の場合と想定し、下記図を参照しご説明します。

1. 3連結・全開放：連結器は全固定、ゲート可動操作は制御用リミッター①⑥で位置検知し電動運転
2. 2連結・2/3開放：連結器①は解除・連結器②のみ固定、制御用リミッター③⑥で位置検知し電動運転
3. 単体・1/3開放：連結器①は固定・連結器②のみ解除、制御用リミッター⑤⑥で位置検知し電動運転



【本件に関するお問い合わせ先】

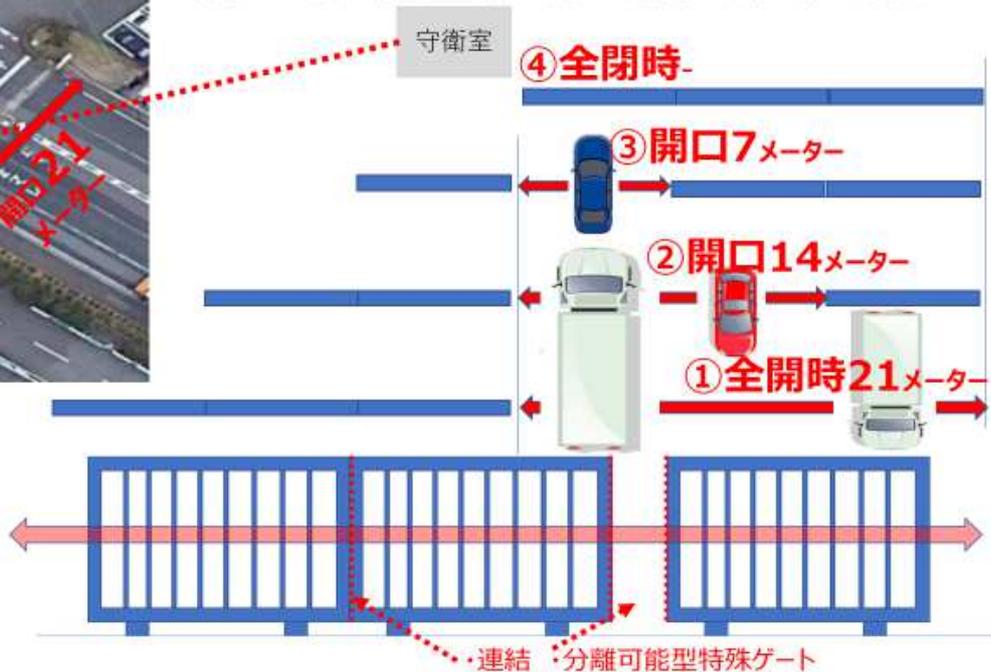
応緑株式会社（オーリョク） ゲート事業部
 〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL : 079-224-7501 FAX : 079-224-7507
 E-mail : info@ohryoku.co.jp

3. 事例



ゲート事業部 1990年 川崎重工業 明石工場【兵庫県明石市】

■特徴:守衛室付近の開口間口を通過車両等に応じ調整



【本件に関するお問い合わせ先】

応緑株式会社（オーリョク） ゲート事業部
〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL : 079-224-7501 FAX : 079-224-7507
E-mail : info@ohryoku.co.jp

2022年3月4日
応緑株式会社

新ゲートシリーズ『スロープゲート』 ～勾配地対応門扉～

総合ゲートメーカーである応緑株式会社（本社：兵庫県姫路市、代表取締役：河越祥郎）は、独自の設計思想と高品質施工をもとにオンリーワン商品を数々生み出してきました。今回は創業50周年を記念し、積み上げてきたノウハウの集大成の一つとして、勾配地に対応できる門扉『スロープゲート』を発表致します。勾配地の多い日本において、当社新商品が建築デザインの展開に貢献していけることを期待しております。

従来、勾配の土地にゲートを設置する場合には、重量物であるゲートが自重で加速してしまう事への危険回避と坂上側への可動負担軽減のために電動化する必要がありました。電動化を行うにはゲート自体の価格上昇と共に、電気設備の設置スペースも必要となる上、電気設備工場の費用も嵩むためお施主様への負担となっていました。

本ゲートはこの課題を解決するため、勾配地においても手動操作で開閉可能な『スロープゲート』を開発しました。最大の課題である勾配に対する安全性・操作性確保については、当社は独自”スロープブレーキシステム”装置の開発により課題を解決しました。

“スロープブレーキシステム”は、ゲートに取り付けたハンドルにより操作を行います。坂下側への開閉操作時、ゲートが加速することを抑制し自動ブレーキがかかる仕組みで、ハンドル操作時のみブレーキを緩めながら安全に坂下側へ操作可能です。坂上側へ開閉操作をする際は、ギア比により女性でも軽く操作できるように工夫をしているので負担を軽減できます。

このシステムにより、今後は勾配地においても安全に使用できる手動ゲートの設置が可能となるだけでなく、電動式ではないので環境にも配慮したゲートとして国内で貢献できることを期待しております。

『スロープゲート』の商品特徴

1. “スロープブレーキシステム”の開発により、勾配地への手動ゲートの設置が可能。
2. 設置されるエリア景観に応じて、周辺意匠に合わせたデザイン仕上げが可能。
3. 電動化により遠隔操作による開閉・監視も可能。

【本件に関するお問い合わせ先】

応緑株式会社（オーリョク） ゲート事業部
〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL : 079-224-7501 FAX : 079-224-7507
E-mail : info@ohryoku.co.jp

事例



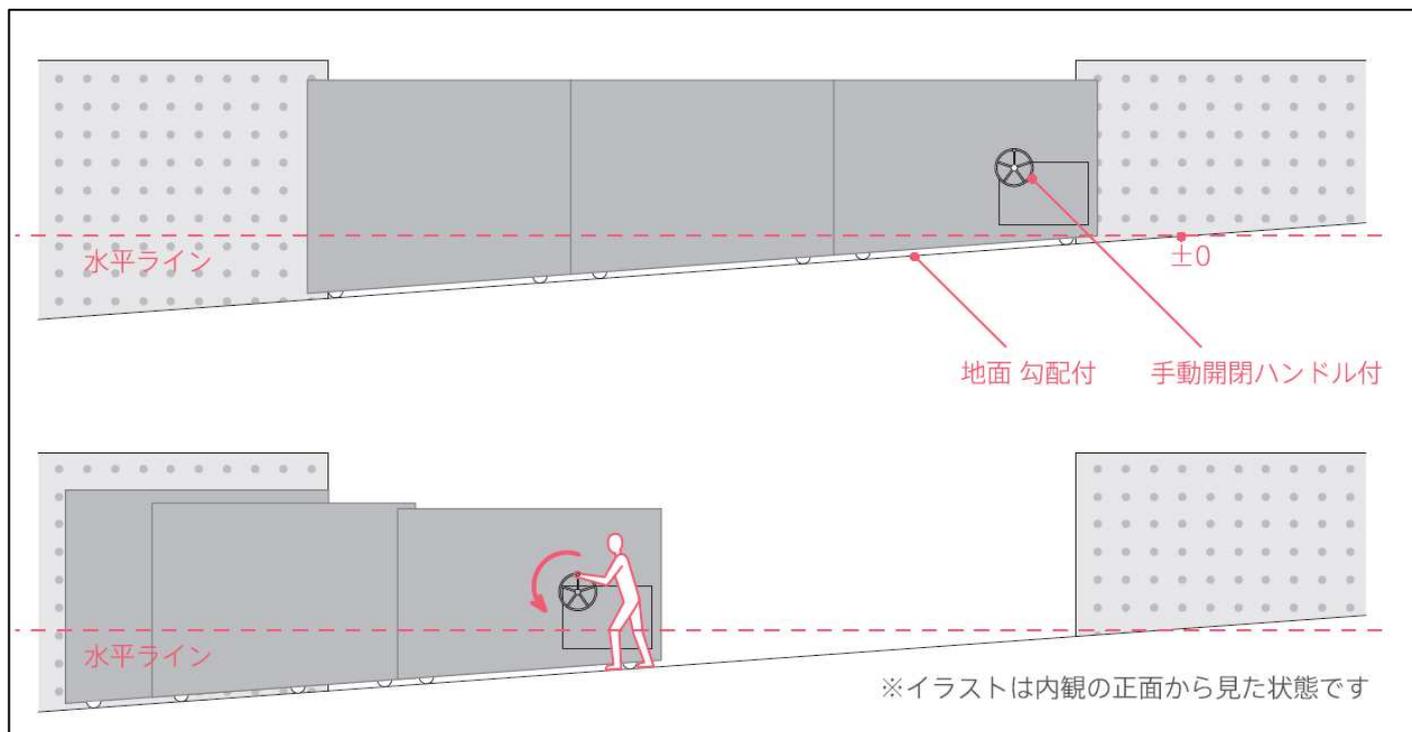
祇園辻利（京都府）

京都らしい周辺の景観と合わせた風情のあるゲート。塀に合わせた木の素材をゲートに貼り付けて装飾することで、ゲートの圧迫感が無くなりました。約5度の坂道への設置ですが、“スロープブレーキシステム”の操作により女性の力でも楽々と安全に開閉することができます。

開口サイズ：手動3連 約9m 重量：1,300kg



スロープブレーキシステム



【本件に関するお問い合わせ先】

応緑株式会社（オーリョク） ゲート事業部
 〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地 TEL：079-224-7501 FAX：079-224-7507
 E-mail：info@ohryoku.co.jp